

# エソタ



落語界では今、ネット配信やオンラインの有料落語会が激増している。私は以前から落語の面白さは「ライブでしか味わえない」と豪語していたが、私も始めました(笑)。この変更には何の躊躇もなく、「冷やし中華はじめました」ぐらいの感じだ。もちろん、お客さまの中にはまだまだ否定的な方もおり、ネット配信をやりだした噺家にツイッターで「やっぱり落語は生でないとダメ!」と直接カラむ人もいる。私からすれば「それはアタタが見なんだからええだけやがな」としか思えないが…(笑)。

今後、落語業界はライブとネットの併用になっていくだ

## ■ ネット落語始めました ■

### 笑福亭 たま

ろ。理由は、多くの落語家  
が、ネットでしか味わえない  
落語の面白さも「発見した  
からだ。

ネットの落語は、今までの  
テレビの落語と違い、噺家が  
自分でカメラ視線にしたり、  
顔を急にカメラに近づけた  
り、場面場面で見ている仕  
草をアップにしたりと、自分  
で映像の演出を変えられる。  
ネットの映像の落語は、従来  
の公開録画だけではなくなっ  
た。

料理に例えると、生の落語  
は美食で、映像の落語はテレ  
ビのグルメ番組みたいなもの  
である。グルメ番組は美食の  
味わいは得られないが、その  
代わり「観て楽しい」ように  
作られている。「食べておい  
しい」と「観て楽しい」は全

## 映像演出の面白さ発見

オンライン落語会の準備をする筆者



くの別物だが、どちらも快感  
には違いない。

それと一緒に、生の落語と  
映像の落語の面白さは全く別  
の種類だが、「お客が笑えば  
そんでええ」という根本が同  
じだ。そしてライブに比べて  
い遠方の人や足腰の悪い方な  
どもにも、ネットなら落語を届  
けられるというのもうれし  
い。ネットであっても「人と  
人との心の交流」という落語  
の醍醐味を出せることに落語  
家が気づいたのだと思う。

こう書くと、ただの「ネッ

ト落語賛美」になる  
が、もちろん面白く  
ない配信も山ほどあ  
る(笑)。それは当  
然だ。クオリティ  
の高いものもあれ  
ば、「暇やから仕方  
なく」の動画とか  
「ただだやってるだ

け」とか、「面白いけど商売  
が下手な配信」とかいろいろ  
だ。そもそも業界全体がネッ  
トに未熟で勉強中なのだけ  
ら、私も含め、ひどい配信も  
多い。だが、それが良いか悪  
いかはライブと一緒にお客さ  
まの「運」であり、個人の好  
みだ。

落語家のネット市場への参  
入で、アフターコロナでは落  
語市場は拡大する可能性も高  
い。人間万事塞翁が馬だ。

(落語家 次回掲載は七月  
九日)